

2017年6月19日

東京海上ホールディングス株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目2番1号

コード番号 8766

## インド損害保険現地法人の出資比率引上げについて

東京海上ホールディングス株式会社（取締役社長 グループ CEO 永野 毅、以下「当社」）は、当社の子会社であるトウキョウ・マリン・アジア社（以下「TMA Asia 社」）を通じて 26.0%出資しているインドの損害保険会社であるイフコトキオ・ジェネラル・インシュアランス・カンパニー・リミテッド社（以下「IFFCO-TOKIO 社」）について、発行済株式 23.0%を 253 億インド・ルピー（約 437 億円）で追加取得することにより、IFFCO-TOKIO 社への出資比率を 49.0%に引き上げることにつきまして、現地関係当局から承認を取得し、合弁パートナーであるインディアン・ファーターライザー・コーポレーティブ・リミテッド社（以下 IFFCO 社）との間で正式合意に至りましたのでお知らせします。

### 1. 出資比率引上げについて

東京海上グループは、2000年にインド最大の肥料製造販売会社である IFFCO 社との合弁損害保険会社を設立し、日本の保険グループとして初めてインドの元受損害保険市場に参入いたしました。その後、インド全土に跨る IFFCO 社の拠点網や顧客基盤、ブランドを活かしながら順調な成長を遂げ、現在では民間 4 位の規模に成長しております。

2015年3月にインドにおける保険会社への外資出資規制が 26%から 49%へ緩和されたことに伴い、TMA Asia 社の同社への出資比率を 49.0%に引き上げるべく、関係当局への申請を行っておりましたが、本年6月7日付で承認を取得しました。その後、合弁パートナーである IFFCO 社との間で正式合意に至りましたので、今後速やかに手続きを進め、2017年7月末までに本件出資比率引上げに係る手続きを完了する見込みです。

今回の IFFCO-TOKIO 社出資比率引上げは、新興市場におけるマーケット成長を捉え、当社グループの更なる利益成長を実現させるとともに、地域分散の効いた事業ポートフォリオを構築するという当社グループの海外事業戦略に合致するものであります。

出資比率引上げ後、当社グループが国内外で培った保険事業に関する幅広いノウハウをより一層 IFFCO-TOKIO 社の経営に活用することで、お客様のニーズに合った質の高い商品・サービスを提供し、インドの保険市場の発展と、当社グループの海外保険事業の規模・収益の更なる拡大に貢献してまいります。

### 2. インドの損害保険市場について

インドは近年急速な経済発展を遂げておりますが、2022年には人口世界一の超大国になると予測されており、長期に亘る高い経済成長と中間所得層の増加が見込まれていることから、保険市場の急速な成長が期待されています。

市場規模	約 2.2 兆円 (2017 年 3 月末時点、元受収入保険料ベース)
市場成長率	約 16.7% (2012 年 4 月～2017 年 3 月の過去 5 年平均、収入保険料ベース)
損害保険会社数	30 社

### 3. IFFCO-TOKIO 社の概要について

(2017 年 3 月 31 日現在)

正式名称	IFFCO-Tokio General Insurance Co. Ltd.
本店所在地	IFFCO Tower, Plot No. 3, Sector 29, Gurgaon -122001, Haryana, India
主な事業内容	損害保険事業
設立年	2000 年
資本金	27 億インドルピー (約 46 億円)
本支店数	663 ヶ所
収入保険料	563 億インドルピー (約 974 億円)
従業員数	4,238 名
出資構成	TMAAsia 26.0%、IFFCO 社 (含む関連会社持分) 74.0%

1 インドルピー=1.73 円で計算